

令和2年 **6**月の大阪森林便り



今月の木の話 木にも背と腹

- * 山の木は、日当たりの加減でその性質が違ってきます。
- * 「背」：山の傾斜面では谷側の側面。日当たりの良い側なので、枝葉が良く繁り成長もよいため、若干ふくらんでいて材質も硬め。
- * 「腹」：山の傾斜面では峰側。材質も素直で良質な木材が多くなっています。
(日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用)



(1) 国産針葉樹合板が下落 住宅受注減で

3年ぶり水準 東京卸値2か月ぶり

- * 国産針葉樹合板の流通価格が2か月ぶりに下落。前月に比べ2%安。
- * 2017年9月以来の安値。
- * 新型コロナウイルス感染拡大の影響で住宅受注が減っています。
- * 住友林業の4月の受注は、戸建て注文住宅が前年同月比35%減、賃貸住宅が20%減。5月の受注も低水準。
- * 合板メーカーは価格維持のため4月から本格的な減産を始めましたが、6月の需要も見込めず減産を継続、拡大する方針。
(2020年5月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(2) 森林調査の技術開発 近畿大学 農学部環境管理学科

- * 近畿大学農学部環境管理学科の、林業の成長産業化に向けた取り組み。
 - * 「スマート林業」の技術開発と人材育成。
 - * 近畿中国森林管理局と連携協力協定。
 - * 森林資源の現状をレーザー光を使って計測するスマート林業の技術開発。
 - * 木々に当たって反射してきたレーザー光を分析すると、一帯に生える木の数や幹の太さを3次元で把握。
 - * データを正確に収集できるようになれば木を1本ずつ管理でき、将来的には間伐や伐採の時期を把握できるようになります。
 - * 近大の学生や院生が毎年、奈良県の公立の中高に出向いて講義や野外実習を実施。
 - * 地上レーザースキャナーの実用化を阻む課題は、木の高さを正確に測れないこと。
 - ・ レーザー光が葉や枝に遮られ、木の先端に届かないため。
- (2020年5月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

